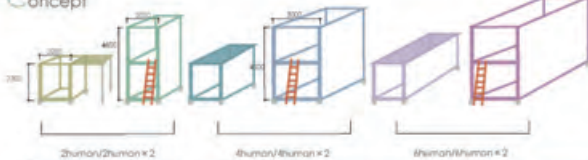


*Hiki-Dasū

いつも何気なく送っている毎日。
 そんな変わらない毎日がある日突然途絶えてしまったら・・・
 当たり前の日常を行う事の困難さに
 苦しむ災害時に
 「住宅」という暖かい場所が
 人々の心の安らぎとなっていく——

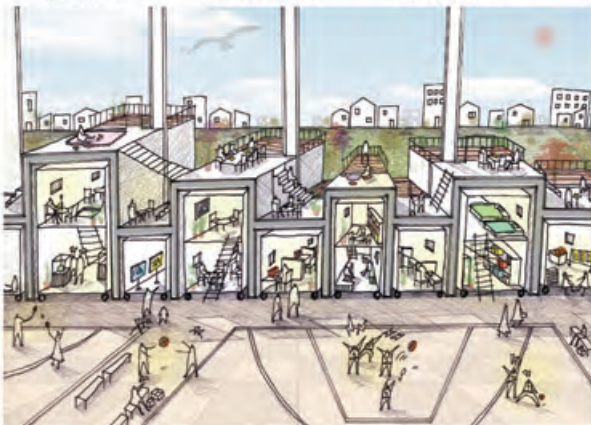
*Concept



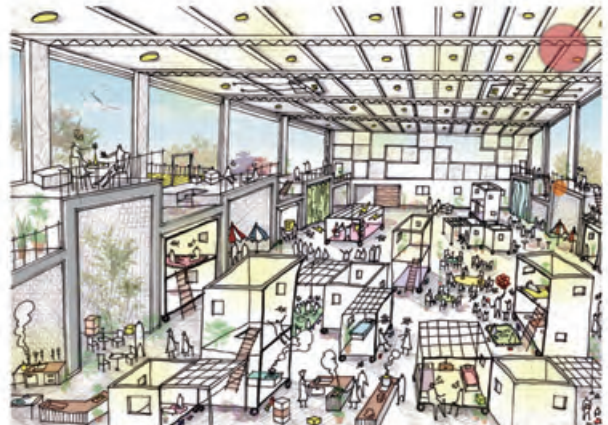
体育館を避難施設としても利用出来るよう、人々が一番身近に感じる「住宅」を再現することで体育館を小さな住宅街として提案する。

住宅となる空間はトロッコを利用し、居住空間を作り出す。トロッコ内はプライベート、トロッコの外はコミュニティー、そしてトロッコから引き出された屋根はの下はセミプライベート、と言った日常に見られる空間を作り出す事で人々の生活の回復を目指す。

このようにして、体育館という共有の場で生まれるコミュニケーションは日常、さらに災害時、復興後の関係を築く場となってゆく。。。

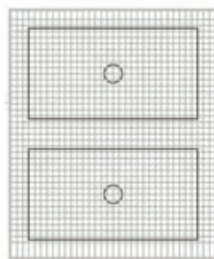


*日常の体育館の様子

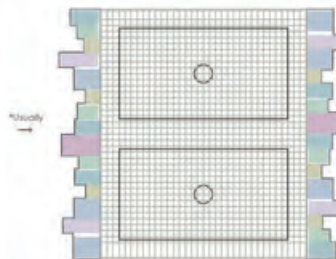


*災害時における体育館の様子

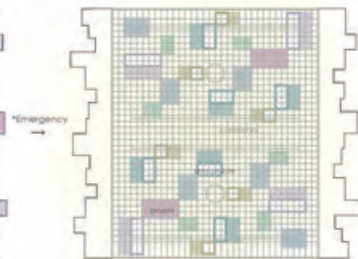
*Diagram



①アリーナを1m×1mのグリッドに分割する。



②アリーナの壁に沿ってトロッコの引き出しを作る。普段は住民参加の集会所や、さらに学生のあそび目的、実習スペースとなる。



③災害時にはトロッコを引き出すことで、体育館を住宅化する。